



佐川の複雑な地層が

多様な植物を育む

牧野富太郎が夢中になって植物研究に没頭したルート
を歩く、多種多様な植物に出会えます。その多様性の
背景には佐川特有の地質・地層の形成が考えられます。
保水力が高い場所、湿地になる場所、固い岩盤など多
様な地質が形成され、そこにそれぞれの地質を好む植物の
群集が作られます。地層が複雑な故に多種多様な植物が
育ち、その多様性が富太郎を魅了したのです。

◆チャート・砂岩

チャートは地殻の運動から出来た岩石で
透水性低植物を代表し、室蘭、深堀
ルート各地に多く佐川は室蘭の砂岩もそ
の一つ、砂岩は、透水性低植物の代表
で深堀ルートの特長に多く見られる。
透水性低の植物が生育する地層間は
付帯地層とも呼ばれる。



◆石灰岩・凝灰質泥岩

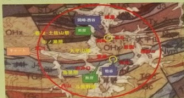
石灰岩はサンゴや貝などの殻を持つ生物
の遺骸が固まったもの。凝灰質泥岩は火
山灰と泥が固まり固結したもので、石灰
岩にはジャコウソウ科トズス、凝灰質泥
岩にはメノボラン科が生えやすい。

◆断層

プレート運動や火山活動などの影響で地
層がずれた部分は、地層がずれて露出した
ために地下水が湧出する。気温が小
さく湿度が高いので、シダ類や苔、ラン
科の植物が多く生える要因にもなる。

佐川周辺の地質

牧野博士はよく化石を採取していました。昭和27年、町への手
紙で佐川の繁栄のため化石の博物館を開設しています。博士
は佐川の地質の特性をも把握していたことが分ります。
南北13kmの佐川町。その間にシルル紀から白亜紀までの約3億
年の間に作られた地層が断層でズレズレになって折り重な
る。日本でも稀な地層。佐川町は日本の地質学発祥の地。
※色の濃いのが地層の濃いを表します。



牧野富太郎スケッチ図

高知県立牧野植物園所蔵

牧野博士が佐川で見つけた花々



ハイカオウレン

佐川町 和紙 巻 1892



サギソウ

『日本植物図説』第1巻・
第3巻、第1巻 室蘭の砂岩
佐川・砂岩 1897



ヒメノオウレン

『日本植物図説』第1巻・
第3巻、第34巻の砂岩
佐川町 和紙 巻 1899



オンブツ

佐川町の山崎 和紙 巻



シバヒスミレ

土佐県佐川 和紙 巻
1895



ヒシバナ

『大日本植物図説』第1巻・第3巻・
第10巻、第10巻
佐川町 和紙 巻 1899

聖地を歩く
周遊ルートが
出来ました！

佐川さとやま遊友会

お問い合わせ/0889-20-9500 (さかわ観光協会)

佐川さとやま遊友会は豊かな自然とそ
の恵みを生かして次世代へとつなぐ事を目的
に牧野博士の聖地の道の整備を実施。稲の
サギソウ再生や道の維持管理などの活動も行
っています。

アクセスと所要時間

JR 高知駅-佐川駅 JR 土讃線 55分 (特急 25分)

- 1 佐川駅-牧野富太郎らるさと館 徒歩約 10分
- 2 崎崎登り口-室原登り口 徒歩約 15分
- 3 室原登り口-サギノス登り口 徒歩約 10分
- 4 サギノス登り口-深堀神社登り口 徒歩約 25分

後援/佐川町・さかわ観光協会

牧野富太郎博士顕彰事業実行委員会が使用しています

佐川 南山麓
周遊ルートマップ

牧野富太郎の 聖地を歩く

